

第 13 回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：平成 25 年 3 月 17 日（日） 14:00～16:05

場 所：栃木県教育会館 小会議室

出席者：三島次郎委員長、酒井豊三郎委員、櫻井正美委員、杉田勇治委員、
高橋滋委員、林不二雄委員、矢澤高史委員（敬称略、委員五十音順）

事務局：思川開発建設所

議 事：

1. 工事の状況について

事務局より、現在の工事の状況を説明した。

2. オオタカに対する環境保全対策

事務局より、オオタカに対する環境保全対策について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・代替巢の補修では、オオタカの生態等をより考慮すべきである。
- ・間伐効果確認調査（鳥類）は調査時間を十分確保すること。

3. ムカシヤンマに対する環境保全対策

事務局より、ムカシヤンマに対する環境保全対策について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・生息範囲の維持・拡大については、今後継続的に手を加えなくとも生息できるような環境を目指すべき。

4. 植物に対する環境保全対策

事務局より、植物に対する環境保全対策について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・植物の播種については、播種の時期や種子の保存方法等を工夫し、実験的に行うこと。

5. 所久保保全地の整備

事務局より、所久保保全地の整備状況とモニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・モニタリングは、保全地整備に伴う確認種の変化を十分把握できる方法で行うこと。

6. 環境巡視

事務局より、平成 24 年度での環境巡視の完了と今後の対応について説明し、了解された。

7. レッドリスト改訂に伴う対応

事務局より、環境省、栃木県それぞれのレッドリスト改訂に伴う新規掲載種、除外種の今後の扱いの検討方針について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・リストからの除外種については、これまでの取扱いを継続すること。

8. その他報告事項

8-1 杓子沢で行った環境への配慮

事務局より、底生動物モニタリング調査の経過報告を行った。

8-2 ヤマネ調査

事務局より、ヤマネ調査の結果について説明し、平成 25 年度にもヤマネの確認がなければ調査を終了することとした。

以上